

Hot Voice

わたしの声を聞いてください

ホットボイスはがきには、お名前をお書きください。

ご意見をお寄せいただいた方のお名前がわからず、回答できない場合があります。

誌面に掲載しなくても、記名されているはがきに対しては、全て直接回答を送付しています。

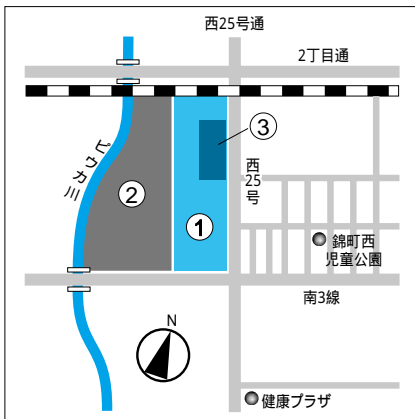
投書者名は希望される場合を除き公表しませんので、ご協力をお願いします。

お問い合わせ先 企画調整課 広報広聴係（内線223）

● ホクレン澱粉工場の跡地は何に？

ホクレン澱粉工場の跡地は何になる予定なのでしょう。乱開発や産業廃棄物処分場になるのではと心配しています。

町のできる範囲で教えてください。（一町民）



お答えいたします。

ご承知のように、ホクレンめむる澱粉工場は、土幌町への統合が決まり閉鎖することになりました。情報では平成13、14年の2か年で事務所や工場などの解体を行い、また廃液処理施設についても廃液を処理し、それぞれ元の状態に戻す計画です。

全体の面積は約17haで、そのうち事務所や工場が建っていた約8.4haは、市街化区域で用途地域は工業地域となっています（図中）。残りの約8.6haは市街化調整区域となっています（図中）。現在のところ、芽室町農業協同組合が西25号沿いの約1.3haを小麦の乾燥サブ施設（図中）として利用している以外は、具体的な土地利用計画は決まっていないとの

ことです。しかし、市街化区域での1,000㎡以上の開発は、用途地域上の建築制限や、開発行為の許可が必要であること、また市街化調整区域での開発は、原則として農林漁業施設以外の開発については認められていないなどの規制があります。

町としても、ご心配されているような開発が行われないよう、適切に指導していきます。なお、大規模な施設等の開発が行われる場合、周辺住民の方々が十分納得されるよう、説明会や公聴会などを実施するよう土地所有者へも要請していく考えです。

（都市開発課計画係）

すまいるモニターの見解から

優しい表紙の印象が、広報誌という行政の堅さを払しょくしてくれるようで、個人的に心から素晴らしい仕上がりだなと感じます。

特集の中にある大きなイラスト、記事の堅さを和らげてくれていると思います。余裕、遊びが大切なんですね。そのイラストに、町民の方からの作品を採用しては、いかがでしょうか。誌面内容にあつた作品を掲載するのは至難の技ですが、それだけに採用された側としてはうれしく思うのではないのでしょうか。

今月の焦点ですが、何とかもう少し和らげる方法はないものでしょうか。堅い内容だからこそ、もう少しページを割いて住民に分かりやすくする必要はないのでしょうか。大事なコーナーです。浅く広く知識を簡単に得られる手法、そして興味の対象に少しでもなるように、問題を例にあげたり、難しい言葉を解説したり、力を入れる必要があると思います。

FACEに登場されたお二人には、大変期待をしています。観光の大役を担い、町民に親近感をもってもらうためにも、広報誌に常に取り上げてもらえないでしょうか。食べることは老若男女同じです。今までは違う料理の味、支配人の考えなどを紹介すれば、お客さんが集まるのではないのでしょうか。お二人の魅力をたっぷり出せるような、働きやすい環境づくりをして差し上げることが、私たち町民にはね返ってくるのではないかと思います。